

株主の皆様へ

第56期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

株式会社 **オービック**

証券コード:4684

OBIC7クラウドで経営効果を最大に 中堅・大手、新規のお客様が急増

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当社の第56期中間期(2022年4月1日～9月30日)の事業概要および実績をご報告するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

今期はロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー・食糧の高騰に加え、世界的な金融引き締めによる景気減速懸念が強まる中、経済再開が進み、デジタル変革(DX)投資が一段と広がりました。当社は社員一同、お客様企業のDX推進を全力で支援する課題と目標を掲げ、経営効果を最大限引き出す取り組みを推進した結果、売上高・営業利益・経常利益いずれも過去最高を記録し、特に営業利益は22期連続で増益を達成できました。

当社は創業以来掲げる「お客様第一主義」のもと、最大の経営効果を引き出すOBIC7クラウドを会計や人事給与、販売管理を中心にした経営基幹情報システムとして提供し、幅広い業種・業界のお客様から支持をいただいております。特に今期は中堅・大手企業様向けに営業を強化し、不動産や建築、土木業界等のお客様から多くの引き合いをいただき、新規のお客様の割合がシステム構築の売上高の6割を超える結果となりました。クラウドの利用料や保守点検サービス収入は前年同期比115.8%の大幅増となり、お客様のクラウド導入比率は75%まで上昇、2025年にめざす全面クラウド移行に近づきました。

当社が取得に力を入れる特許は、累計の出願件数が9月末で1,350件、登録件数は330件を超え、お客様から高い評価をいただいております。特許技術は好不況の波に左右されることなく、お客様に安心安全かつ経営効果に直結するシステムを提供していく推進力になっています。当社はOBIC7クラウドを駆使して、お客様の新システム導入の企画・開発から運用に至るまでスピーディに対応しております。どうか今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

橘 昇一

おかげさまで当中間期も、 過去最高の業績を更新いたしました

当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革(DX)への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

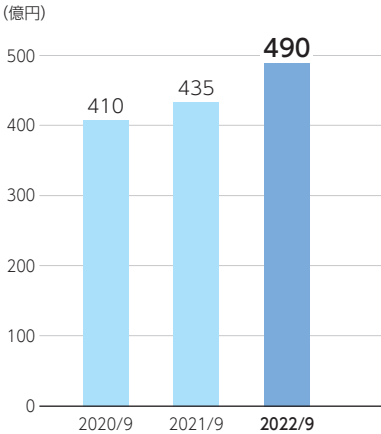
当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、従業員のテレワーク環境整備など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高490億76百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益307億18百万円(同16.5%増)、経常利益は350億62百万円(同21.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は249億4百万円(同17.0%増)となりました。

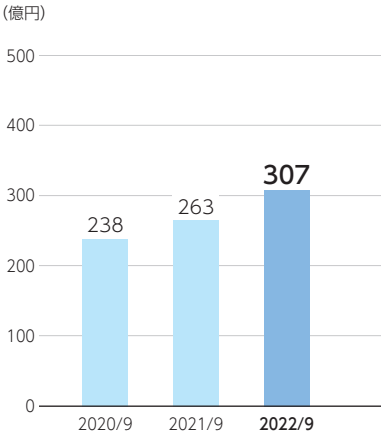
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれますが、今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

財務ハイライト

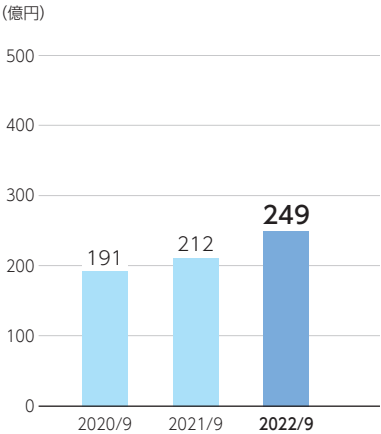
売上高



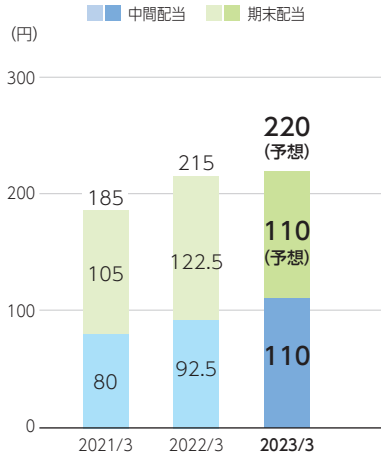
営業利益



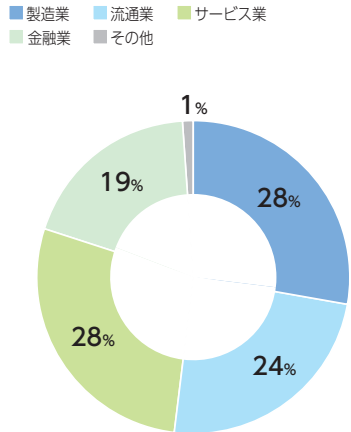
四半期純利益



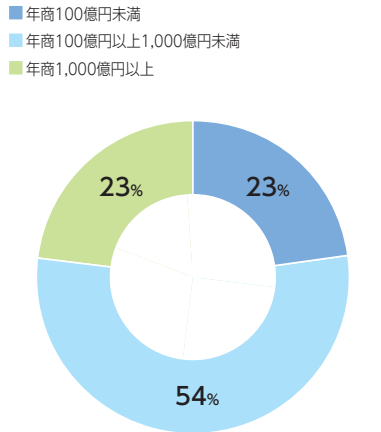
1株当たり配当金



販売先情報 (業種別)



販売先情報 (規模別)



※システムインテグレーション事業の売上高ベース

営業の概況

当社グループは、株式会社オービック(当社)および連結子会社1社ならびに関連会社2社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業および業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

なお、業務用パッケージソフト(PKG)事業については、関連会社で行っているため、事業のセグメントには含まれておりません。

◎ システムインテグレーション(SI)事業

売上高

222億47百万円

前年同期比 11.6% ↑

営業利益

130億52百万円

前年同期比 15.6% ↑

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、様々な業界・業種の企業に求められました。クラウドの採用増加に伴い、サーバー機器等のハードウェア仕入販売の売上が低水準で推移したものの、付加価値の高いシステム構築の売上については、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は222億47百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は130億52百万円(同15.6%増)となりました。



◎ システムサポート(SS)事業

売上高

235億67百万円

前年同期比 15.8% ↑

営業利益

169億6百万円

前年同期比 18.1% ↑

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェアおよびハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は235億67百万円(前年同期比15.8%増)、営業利益は169億6百万円(同18.1%増)となりました。



クラウドセンター

◎ オフィスオートメーション(OA)事業

売上高

32億61百万円

前年同期比 0.1% ↓

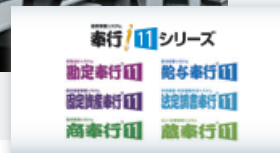
営業利益

7億59百万円

前年同期比 0.5% ↓

中小企業を中心に印刷サプライやオフィス家具等の販売がやや減少したものの、主力の業務用パッケージソフトの販売については堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は32億61百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は7億59百万円(同0.5%減)となりました。



事業概況／ワンストップ・ソリューション・サービス

1社ですべて解決 経営効果の最大化を全力支援

オービック独自のビジネスモデル「ワンストップ・ソリューション・サービス」はシステム導入のコンサルティングから企画・設計、構築、運用・保守まで、他社を一切介さず、すべて自社開発・直接販売・自社サポートで一貫して提供します。直接販売で得た様々な業界・業務の知識とノウハウを蓄積し、システム企画・構築に反映。お客様サポートにも役立てております。業界最高水準のセキュリティ基準を確保したクラウド環境は、新システムの早期・安定稼働を実現します。



お客様と向き合う関係を大切にする「自社開発」「直接販売」

「自社開発」と「直接販売」にこだわり続け、エンドユーザーであるお客様と直接向き合うことで、変化を続けるお客様の課題やニーズをタイムリーに把握し、常に最適なソリューションをご提供します。

導入後の継続的改善まで「自社一貫体制」でサポート

導入のコンサルティングからシステム企画、設計、開発、クラウド環境などのインフラ、稼働、導入後のサポート、情報提供まで、IT活用のプロセスのすべてを「自社一貫体制」でご提供します。

新卒採用

当社の社員は、新卒採用のみ。社員の技術・スキルや提案力、コミュニケーション力をじっくりと時間をかけて育成することで、顧客の経営課題に対して最適な解決策を提供できるよう努めております。



「大阪ビジネスの財産は人です」
(1973年の会社案内より)

主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」

OBic7で企業経営を強くする

累計で2万5千社が導入、ERP市場ベンダーシェア1位を獲得※

※出典：ITR [ITR Market View：ERP市場2022]

高い経営効果

業界・業務ノウハウを詰め込んだソリューション。
属人化の解消・内部統制強化・セキュリティ対策など、
様々な経営課題を解決し、持続的な成長を可能にします。

安心のクラウド環境

自社社員のみで運営している安心のクラウド環境で、
すべてのERPを提供。高度で複雑なシステム保守や
セキュリティ対策はオービックにお任せください。

ワンストップソリューション

自社開発・直接販売・自社一貫サポート。
オービックが築き上げた真の「ワンストップソリューション」
が安心と満足をお約束します。

早期安定稼働

システムを短期間で立ち上げ、効果を上げる。
スムーズな導入により、業務の効率化はもちろん、
データ分析による経営判断の迅速化を早期に実現します。



当中間期の取り組み

● 当中間期もOBIC7クラウド好調 中堅・大手企業を中心に利用拡大

自社のクラウドセンターでインフラからアプリケーションまでワンストップで提供する『OBIC7クラウドサービス』が、高度なセキュリティ対策や経営の意思決定の迅速化、事業継続、働き方改革などに直結するサービスとして中堅・大手企業を中心に引き続き高い評価をいただいております。

クラウドユーザー比率は2022年9月末時点で75%に達し、2025年の全面クラウド移行に向けて順調に進捗しております。

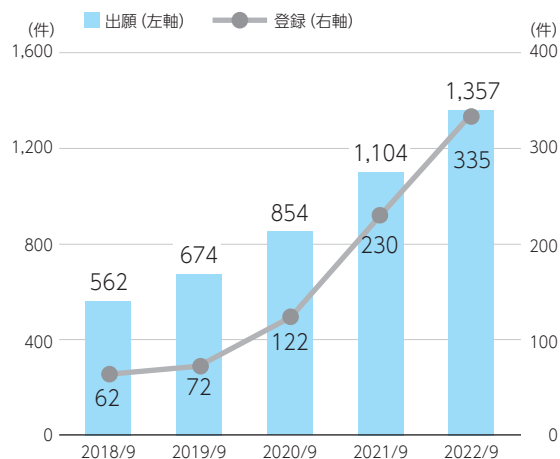


● 特許の出願件数が累計1,350件を突破

自社開発・直販で蓄積した様々な業種・業界のノウハウを「ビジネスモデル特許」として可視化し、ソリューションの付加価値向上と競合差別化につなげております。

出願件数、登録件数の累計は2022年9月末時点でそれぞれ1,350件、330件を超え、ITセクターでも高い水準となりました。今後も継続的なイノベーションの推進と提案力の向上を通じて、お客様の経営効果に貢献できるよう努めてまいります。

特許の出願／登録件数



◎ 当社の健康経営の取り組みが メディアに掲載されました

当社は創業以来、家族主義の考え方のもと健康経営に取り組んでまいりました。

健康経営への関心が高まる中、一部メディアにて、当社の人材育成に対する取り組みや、社員同士のコミュニケーション活性化を目的に1986年から開催してきた社員運動会について掲載いただきました。

今後も社員が心身ともに健康で、生き活きと働き成長できる環境づくりに取り組んでまいります。



◎ 『統合報告書2022』をリリース

2022年8月に『統合報告書2022』をリリースいたしました。当社の企業理念や経営戦略、直近の取り組みなどについて体系的に整理した冊子となっております。

事業に関する内容のほか、人材育成や環境保全、ガバナンスに関する取り組みについても記載し、当社についてより深く知っていただける内容となっておりますので、是非ご覧ください。



***Webサイトにも掲載しております**

<https://www.obic.co.jp/ir/assets/pdf/ir2022.pdf>

会社概況 (2022年9月30日現在)

社 名	株式会社オービック
設 立	1968年4月8日
資 本 金	191億7,880万円
社 員 数	2,143名(連結)
主要事業	システムインテグレーション事業 システムサポート事業 オフィスオートメーション事業
事 業 所	東 京 本 社 大 阪 本 社 横 浜 支 店 名古屋支店 京 都 支 店 福 岡 支 店 北関東支店 松本営業所
グループ会社	株式会社オービックオフィスオートメーション 株式会社オービックビジネスコンサルタント 他1社

役 員 (2022年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	野 田 順 弘
代 表 取 締 役 社 長	橘 昇 一
常 務 取 締 役	川 西 篤
取 締 役	藤 本 隆 夫
社 外 取 締 役	五 味 康 昌
社 外 取 締 役	江 尻 隆
常 勤 監 査 役	小 屋 町 朗
社 外 監 査 役	田 中 健 夫
社 外 監 査 役	山 田 重 嗣

株式の状況 (2022年9月30日現在)

●発行可能株式総数	398,400,000株
●発行済株式の総数	99,600,000株
●株主数	5,782名
●外国人持株数	32,644,162株
●少数特定者持株数	62,691,336株
●浮動株数 (1単元以上50単元未満の合計)	1,712,010株
●投資信託株数	7,403,300株
●年金信託株数	974,100株
●大株主	

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ノダ・マネジメント	16,909	19.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	14,533	16.38
株式会社日本カストディ銀行	6,025	6.79
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	3,519	3.96
野田 順弘	2,881	3.24
野田 みづき	2,781	3.13
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	1,868	2.10
エスエスピーティーシー クライア ント オムニバス アカウント	1,728	1.94
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	1,452	1.63
株式会社ダノックス	1,050	1.18

(注) 1.当社の所有する自己株式10,919千株は、上記の表には含めておりません。
2.上記信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式を含んでおります。
3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	電子公告により行う 公告掲載 URL www.obic.co.jp

会社法改正により、2022年9月1日から
株主総会資料の電子提供制度が
開始されました。

リーフレットを同封しておりますので、
詳細につきましてはそちらをご参照ください。





photo by ©Hideki Ishihara

株式会社 **オービック**

Web サイト **www.obic.co.jp**

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15 (オービックビル)

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0046 大阪市中央区平野町 4-2-3 (オービック御堂筋ビル) TEL 06-6201-3231